

平成2年度通常総会開かる

平成2年度通常総会は、去る4月26日に開催され、OR学会賞の授与、新フェローの紹介が行なわれました。

以下に総会の議事録と事業報告、収支計算報告、事業計画、予算をお知らせします。

平成2年度通常総会議事録

1. 日時 平成2年4月26日(木) 15:00~17:00
2. 場所 学会会分館 文京区本郷7-3-1
3. 出席者 森村英典他933名(委任状による出席者を含む)ただし会員総数2,465名(1/3は822名)

上記のとおり出席者が定款第31条に定める定足数に達したので、定款第28条により森村会長が議長となり、議事録署名人に小島政和、高森 寛の両氏を選出して議事に入った。

第1号議案 平成元年度事業報告の件

腰塚理事より別紙平成元年度事業報告書にもとづき説明があり、承認された。

第2号議案 平成元年度収支計算報告および監査報告の件

平本理事より別紙平成元年度収支計算報告書にもとづき説明があり、この報告に関し今野監事より監査報告がなされ承認された。

第3号議案 平成2年度事業計画の件

腰塚理事より別紙平成2年度事業計画について説明があり、原案どおり承認された。

第4号議案 平成2年度予算の件

平本理事より別紙平成2年度予算書について説明があり、原案どおり承認された。

第5号議案 平成2年度・3年度役員選任の件

定款第15条にしたがい平成2年度・3年度役員候補者並びに継続役員が別紙のとおり発表され、満場一致で選任された。

第6号議案 平成2年度・3年度評議員選任の件

定款第19条および第21条にしたがい平成2年度・3年度評議員が別紙のとおり発表され、満場一致で選任され

た。

以上で総会の議事を終了し、議長は閉会を宣言した。

上記議決を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

平成2年4月26日

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

平成2年度通常総会

議長 会長 森村 英典

議事録署名人 小島 政和

〃 高森 寛

総会に引き続き、以下の行事が実施された。

1. 学会賞の授与

長谷川表彰委員長、伏見表彰委員、原野表彰委員、高森表彰委員および鈴木表彰委員より各賞の選考経過の説明があり、会長より賞状・賞牌が下記のとおり授与された。

第18回日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞

木島正明

加藤直樹

第15回日本オペレーションズ・リサーチ学会普及賞

唐津 一

第14回日本オペレーションズ・リサーチ学会実施賞

田辺製薬株式会社

代表取締役社長 千畑一郎

第10回日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究奨励賞

内藤正明・森田恒平・青柳もどり

北村真一

間瀬重昭

第5回日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究奨励賞ソフトウェア部門

南石晃明

2. 新フェローの紹介

新フェローとして田辺国土・竹内啓・矢島敬二・今村和男・井上洋一・児玉正憲・伯野慶三の各氏が紹介され、会長よりフェロー記が贈呈された。

(第1号議案)

平成元年度事業報告

I 事業の概要

1. 研究発表会

(1) 5月11日, 12日の両日, 松山大学において, 第65回研究発表会を開催した。

- 特別テーマ「海を渡るOR」
- 特別講演
 - 1) 私の経営哲学 三浦 保(三浦工業)
 - 2) 瀬戸大橋について 呉藤 満(本四連絡公団)
 - 3) 松山と子規・漱石 和田茂樹(子規記念博物館)

• 発表件数 130件
 一般発表 122件(内部会報告1件)
 ペーパーフェア 8件(内部会報告6件)

• 参加者数 293名
 また, 13日には四国電力伊方原子力発電所他を見学した。

(2) 10月18日, 19日の両日, 東京理科大学において, 第66回研究発表会を開催した。

- 特別講演

- 1) アクチュアリーとは 二見 隆(生命保険文化研究所)
- 2) クリーニング・データ 増山元三郎(東京理科大学)
- 3) 生命科学の諸様相 鶴田 禎二(東京理科大学)

• 招待発表

- 1) 系統復旧問題の分枝限定法による解法と復旧操作に関する知識のOR的分析 駒井研二, 坂口敏明(三菱電機)
- 2) 鉄鋼業における計画問題とエキスパートシステムの活用 福村 聡, 佐能克明, 山川栄樹(川崎製鉄)

• 発表件数 69件
 招待発表 2件
 一般発表 62件
 ペーパーフェア 5件

• 参加者数 256名
 また, 20日にはキッコーマン流山工場他を見学した。

2. シンポジウム

(1) 5月10日松山大学において, 第21回シンポジウム「ORは意思決定に役立っているか」を開催した。参加者は50名であった。

(2) 10月17日日本青年館において, 第22回シンポジウム「数理計画法の最近の進歩と知的所有権」を開催した。参加者は170名であった。

3. 研究部会

研究部会・研究グループ終了・中間報告

◎印 終了を示す *印 研究グループを示す ☆印 常設部会を示す

部会名	主幹 査事	メンバー	開催	内容	場所
☆待ち行列	牧野 都治 (東京理科大学) 宮沢 政清 (東京理科大学)	29名	8回	原則として毎月1回, 2人のスピーカーに講演をお願いし, 討論を行なった。毎回25~30名が参加した。海外の専門家の講演を聞くこともできたが, 関西方面の方々とは一堂に会することができなかったのが残念である。	東京理科大学
◎☆数理計画	古林 隆 (法政大学) 土谷 隆 (統計数理研究所)	17名	5回	数理計画の理論および応用に関する最新の成果の発表・討論を行なうとともに, 会員間の交流を深めた。今年度はとくに種々の非線形計画問題のアルゴリズムに関する話題が多かった。また, 来日中の外国人研究者を招いて講演をしてもらった。	統計数理研究所

部 会 名	主 幹 査 事	メンバー	開 催	内 容	場 所
☆OR/MS とシステム・ マネジメント	太 田 敏 澄 (豊橋技術科学大学) 渡 辺 慶 和 (産能大学)	62名	12回	組織における情報技術の多面的な活用により、付加価値の高い情報の生産形態を実現するための方法論として、OR/MSの実施という視点にもとづく組織知能工学の開発をめざし、研究・討論を行なった。	東京工業大学
◎政策問題	荻 野 正 浩 (㈱電脳総合サ ービス) 片 山 隆 仁 (防衛庁)	26名	11回	当部会はメインテーマ「日本はどうなる一今、何をなすべきか」を設定し、毎月会合し、得意分野の発表・討論を継続(33回)。結果を要因関係図にまとめ、さらに未来像から戦略の一端までを画いて終了した。	三菱総合研 究 所
◎対話型OR	権 藤 元 (近畿大学) 尾 崎 正 亮 (中国電力)	19名	11回	「モデルとの対話OR」を中心として、最近のOAの環境のもとで、ORワークの姿はどうか研究した。たとえば、スプレッドシートの上でORの各種の手法が使用できることを確かめ、主要な内容は報文集にまとめる予定である。	中国電力
◎交通・流通 システム	忍 田 和 良 (日通総合研究所) 八 戸 英 夫 (工学院大学)	16名	11回	鉄道などの交通システムそのものばかりでなく、昨今の輸送に対するニーズの多様化、高度化に合致した交通システムならびに流通システムのあり方を、関連する業界の方々からのヒアリングを通じて研究した。	東洋経済新報 社
◎最適化とそ の周辺	茨 木 俊 秀 (京都大学) 福 島 雅 夫 (京都大学)	16名	10回	これまで関西地区では、「数理計画法」「システム最適化」の各研究部会が活動を行ってきたが、本研究部会はこれらの実績をふまえて、数理計画法の理論と応用、意思決定の手法、人工知能・知識工学などに関連するテーマを主に採り上げ、大学および企業の研究者の間での情報・意見交換を行なった。	京大会館
◎意思決定	真 鍋 龍 太郎 (文教大学) 大 屋 隆 生 (電力中央研究所)	42名	3回	AHPの応用例をできるだけ公表し、「日本の経営風土でどのように使うかをさぐる」という目的でこの部会を始めた。それらに関するテーマを持っているの方々を見つけ、インフォーマルに討論し、各自のポテンシャルを上げるといふ点では成果をあげた。	住商コンピ ューターサー ビス
確率モデルと その周辺	大 野 勝 久 (名古屋工業大学) 中 出 康 一 (名古屋工業大学)	13名	6回	主に、待ち行列、信頼性、在庫理論等の応用確率論と統計手法の理論解析ならびにそれらの現実モデルへの適用を中心に研究発表を行なっている。本年度は特に生産システムへの適用を多くとりあげた。	名古屋工業大 学
システム・シ ミュレーショ ン	森 戸 晋 (早稲田大学) 中 野 一 夫 (構造計画研究所)	19名	5回	離散型シミュレーションの理論・応用・ソフトウェアの情報提供・情報交換・討論を行ってきた。発表・討論された応用分野は生産分野が大半であった。	構造計画研 究 所
システム・ダ イナミックス	亀 山 三 郎 (中央大学) 内 野 明 (横浜商科大学)	13名	12回	SDによるナショナル・モデルの開発をメインテーマに、問題の定義、人口部門、マネーフローなど多面的なアプローチと、日本生産性本部より受託した「21世紀の社会保障(厚生年金)予測モデル」の研究を実施した。	明治大学

部 会 名	主 幹 査 事	メンバー	開 催	内 容	場 所
情報ネットワーク	勅使河原 可海 (日本電気) 木 嶋 恭 一 (東京工業大学)	15名	11回	情報ネットワークが、マネジメントにおよぼすインパクト等を幅広い立場で考察し、情報ネットワークに関して共通理解を得ることをめざしている。戦略情報システムに関連するテーマについても議論している。	日本電気
投資と金融のOR	今 野 浩 (東京工業大学) 白 川 浩 (東京工業大学) 中 里 宗 敬 (東京工業大学)	16名	11回	高度なリスク管理を行なうための数理モデル並びに情報システムについての研究発表会を開催し、投資・金融理論の理論家と銀行、証券・生保等の実務家との相互交流を通じた、情報交換の機会を提供している。	東京工業大学
数理モデルとその周辺	児 玉 正 憲 (九州大学) 時 永 祥 三 (九州大学)	23名	9回	社会科学、自然科学の広い分野の方々が、数理モデル論、地域計画モデル、数理計画法、確率モデル、シミュレーション、制御理論の応用等について発表された。	九州大学
CIM・FMSの管理技術	黒 田 充 (青山学院大学) 鈴 木 久 敏 (筑波大学)	31名	7回	CIM・FMSの管理技術を、理論と応用の両面からの情報交換を目的に、毎月1回、青山学院大学にて講演・討論を行なっている。本部会は日本経営工学会の同一名称の研究部会と合同で開催している。	青山学院大学
* 経営・管理システム	上 田 亀之助 (上田イノベーション研究所) 樋 爪 徹 (山内製薬)	20名	12回	社会的有機統一体の経営管理は人間行動を通して行なわれます。モノゴトは変転極まりなく万差億別に起こってきます。その経営管理は原理原則にもとづき、常に現実即してシステム的に行なわなければなりません。	勤労福祉会館
* 社会分析	小 島 光 造 雨 宮 幸 雄 (東京計算サービス)	18名	4回	社会分析の態度は、「社会を構成するのは人間であり、人間の生きざまによって社会はどのようにも変りうる」という原則を基本にしている。	勤労福祉会館
* 動的計画法	小田中 敏 男 (東京都立科学技術大学) 藏 野 正 美 (千葉大学)	8名	9回	今年度より研究課題を拡大して(1)フェジ理論と人工知能、(2)確率制御過程、(3)動的計画法、(4)数理生物学、(5)数理経済学 等を包含するようにしたが、その成果を挙げる事ができた。	日本科学技術連盟

4. 普及活動

(1) 定例講演会

開催年月	テ	マ	講 師	参加人数	開催地区
元年9月	図形処理とスケジューリング		黒 須 顕 二	15名	九 州
" 12月	大規模確率システムの数値解析		高 橋 幸 雄	18名	中 部
" 12月	合意形成に役立つ意思決定支援システム(DSS)のあり方について		高 井 英 造	50名	中国四国
" 12月	分枝限定法の生産・配送計画への活用		鈴 木 久 敏	24名	本 部

(2) ORセミナー

「シミュレーションの基礎技術とその活用」を平成2年1月25日、26日日本アイ・ピー・エム㈱で開催した。参加者は55名であり、強い関心と活発な質疑を呼んだ。

開催日	題 目 (あらまし)	講 師
1月25日	シミュレーションの構成 これからシミュレーションを活用していこうとする人のために、シミュレーションの手順を追いながら、そこにあらわれる様々な手法を概説する。	逆瀬川 浩 孝 (筑波大学)
	シミュレーションモデルの作り方 シミュレーションの対象は千差万別であるが、それらのモデルの枠組みの代表的なものを知っておくことが重要である。またモデルと結果の精度との関係にも若干ふれたい。	若 山 邦 紘 (法政大学)
1月26日	シミュレーションの統計的側面 乱数を使ったシミュレーションでは、結果の解釈を誤らないようにすることが重要である。そのための種々の統計的推測法について述べる。	伏 見 正 則 (東京大学)
	生産システムのシミュレーション —半導体の生産工程を解析する— I Cの製造は現代の生産工程で、おそらく最も複雑なものである。その解析のために、数値計算を含む広義のシミュレーションが、どのように活用されているかを説明する。	米 田 清 (東 芝)

(3) OR企業サロン

昨年に引続き「情報化と戦略的事業展開」を統一テーマとし、梅沢 豊 (東京大学経済学部)、斎藤嘉博 (日立製作所) をコーディネータとして開催した。今日的な経営の重要課題に関する話題を提供し、あわせて参加者相互の交流を深めることによって、大きな成果を収めた。(参加者延 340人)

開催月日	テーマとゲストスピーカー	要 旨	参加者
元. 7. 19	情報戦略四半世紀の歩み —M I SからS I Sへ— ○勲鉄道総合技術研究所理事長 尾関 正則	1960年代後半に喧伝されたM I SからD S Sなどを経て今日のS I Sに至るまで、コンピュータの経営と経営戦略はどのように変わってきたか。また将来への展望はどうか、について語る。	56名
元. 9. 12	三洋証券の情報戦略 ○三洋証券㈱社長 土屋 陽一	激しい経営環境の変化の中にあって、コンピュータを効率的に活用することにより、いかに他社と戦っていくか、そのサバイバル戦略を紹介する。	64名
元. 10. 12 於：大阪	花王の情報化はなにをめざすか ○花王㈱副社長 渡辺正太郎	花王の先進的情報化戦略に関し、その思想・展開過程・将来構想等について語る。	40名
元. 11. 7	日本精工のQ C D対策システム —MAGMAの狙いとする世界— ○日本精工㈱副社長 細田 正勝	製造工業のこれからのあり方へ向けた1つのステップとして、日本精工が、何を狙い、どのような経緯でMAGMAを構築したか、今後何を考えなければならないかを語る。	40名
元. 12. 5	経営革新への挑戦 —セブン-イレブン・ジャパン— ○セブン-イレブン・ジャパン代表取締役 鈴木 敏文	生活者のニーズを絶えず創造し続ける新しいコンビニエンスストアを、ソフトウェアビジネスとして位置づけ、その戦略を説く。	53名
2. 1. 18	激変する金融界と情報システム —大規模情報システムの課題— ○勲金融情報システムセンター理事長 清水 汪	激変する金融環境の下で進む情報化・システム化により今どのような問題が生じているのか、その取り組むべき課題は何かを語る。	47名
2. 2. 20	中小企業の情報戦略 ○日経コンピュータ副編集長 上村 孝樹	S I Sを積極果敢に構築し運用している先進企業の事例を通して、中小企業の情報戦略の在り方を探る。	40名

5. 刊行物

- (1) 機関誌「オペレーションズ・リサーチ」Vol.34 No.3からVol.35 No.2まで12号(本文707ページ)を発行した。各号は特集を主とし、他にトップの視点、論文・事例研究、論文・研究レポート、連載、研究室だより、学生論文賞受賞論文要約、書評、研究部会報告等を掲載した。特集のテーマは次のとおりであった。

Vol.34 No.3「線形計画の新潮流」、同No.4「階層化意思決定法(AHP)」,同No.5「イノベティブ・マネジメント」,同No.6「気象と経営」,同No.7「ORの切り口」,同No.8「快適性」,同No.9「マーケティング・サイエンス」,同No.10「時系列分析」,同No.11「ゲーム理論のフロンティア」,同No.12「次世代生産システム」,Vol.35 No.1「企業のリストラクチャリング」,同No.2「シミュレーション」

- (2) 論文誌(Journal of the Operations Research Society of Japan) Vol.32 No.1からNo.4まで(522ページ)を発行した。本年度の投稿論文は64編(再投稿23編を含む)で、掲載論文は31編であった。
- (3) 研究発表会アブストラクト集およびシンポジウム予稿集

春季・秋季研究発表会のアブストラクト集およびシンポジウム予稿集を発行した。

6. 日本学術会議並びに他学協会との連携・協力

- (1) 日本学術会議関連

日本学術会議経営工学研究連絡委員会(経営工学研連)の構成学会として、引き続き委員3名を、また新たに同会議経営工学研連の構成学会としてオブザーバー(準委員)1名を派遣し、それらの活動に協力した。

7月14日に、経営工学研連並びに関連4学会の共催による第5回シンポジウムを日本学術会議講堂において開催し、197名の参加をみた。

- (2) 経営工学関連学会協議会(FMES)関連

前年度に引き続いて日本経営工学会・日本品質管理学会との協議会に代議員4名を派遣し、日本学術会議に関連する諸問題、文部省科学研究費補助金の経営工学分科新設問題、連合シンポジウムの開催等についての諸活動に参画協力した。

- (3) 日本工学会関連

工学系71学協会の連合体である日本工学会の活動

に協力し、また同会事務研究委員会に委員1名を派遣した。

7. 国際協力

- (1) IFORS(International Federation of Operational Research Societies)が発行するIAOR(International Abstracts in Operations Research)の編集発行に協力し、日本の文献抄録95編を送付するとともに、IAORのVol.38 No.1~3, Vol.39 No.1~3の国内頒布に協力した。

- (2) APJOR(Asia-Pacific Journal of Operational Research)の編集、頒布に協力した。また、資金の援助と、これにともない、各国に協力を促すアピール(森村会長)をした。

- (3) *TIMS XXIX-OSAKA 国際会議(1989年7月23日~26日)を大阪ロイヤルホテルで開催した。14平行分科会で論文発表(400)およびパネルディスカッション(4)が行なわれ、熱心な発表と討議が行なわれた。参加者28カ国500名。

*国際数学会議(1990年8月21日~29日)準備のための各種委員会に委員を推薦した。

- (4) EJOR(European Journal of Operational Research)の頒布に協力した。

- (5) APORS 理事会の開催に全面的協力をした。

*第2回 APORS 国際会議の1991年北京における開催が確認された。

*APJORの編集発行に困難があるが、なお当分の間 SingaporeとNew Zealand に委託することとし、各国はそれぞれ協力すべきことが確認された。

- (6) ギリシャ・アテネ市で開催される第12回 IFORS 大会およびフランス・パリ市で開催される CECO-IA2への視察団派遣準備委員会を発足、活動を開始した。

- (7) IFORS-SPC-1; Decision Support Systemの広報に協力した。

- (8) 第3回 SYSTED(Systems Science in Health-Social Services for the Elderly and Disabled)の国際会議に協賛(Honorary Sponsorship)した。

- (9) AFCET 国際学会(Towards European Strategic Management Thinking, Paris 1-2 Feb. 1990)へ棚橋啓世委員を派遣した。

- (10) 海外からの来訪者を応接した。Roberto KAWANO, (アルゼンチン)6月6日

8. 他学協会との交流

他学協会の開催（含予定）した下記の講演会等に協賛、後援した。

- セミナー「ニューラル／ファジィ応用の可能性を探る」（システム制御情報学会）
- 情報処理学会創立30周年記念国際会議（㈱情報処理学会）
- セミナー「最新ソフトウェア開発環境を語る」（システム制御情報学会）
- 「第15回システム・シンポジウム」「第10回知識工学シンポジウム」合同シンポジウム（㈱計測自動制御学会）
- 第3回「組織デザインとマネジメントに関する人間工学国際シンポジウム」（同左運営委員会）
- 第20回信頼性・保安全性シンポジウム（㈱日本科学技術連盟）
- 「情報理論とその応用学会」第12回シンポジウム（情報理論とその応用学会）
- セミナー「情報処理サービス産業の問題点と健全化」（システム制御情報学会）
- 「ファジィ制御基礎講習会」（㈱計測自動制御学会）
- システム制御情報チュートリアル講座「ニューラルネットワーク情報処理の基礎と応用」（システム制御情報学会）

- 第9回シミュレーション・テクノロジー・コンファレンス（日本シミュレーション学会）
- 特別講演「AHP：基本的考えから新しい応用まで」（㈱計測自動制御学会）
- 講習会「ファジィ理論の基礎」（日本ファジィ学会）
- 第3回シグナル・システム・コントロール（SSC）シンポジウム（システム制御情報学会）
- 第4回「大学と科学」公開シンポジウム（同左組織委員会）
- 環太平洋人工知能国際会議（人工知能学会）
- 「ファジィ論理と神経ネットワークに関する国際会議」（同左実行委員会）
- 第22回国際シミュレーション&ゲーミング学会（日本シミュレーション&ゲーミング学会）
- 第16回システムシンポジウム（㈱計測自動制御学会）
- 講習会「ファジィ制御法—理論と実際」（日本ファジィ学会）
- 講習会「光センサと応用システムの最近の進歩」（㈱計測自動制御学会関西支部）
- 講習会「ファジィOR」（日本ファジィ学会関西支部）

9. 支部活動

各支部ごとに次のとおり活動した。

支部活動報告

	北海道	東北	中部	関西	中国四国	九州
運営会議	支部総会 1回 運営委員会 1回	支部総会 1回 運営委員会 1回	支部総会 1回 運営委員会 1回 幹事会 2回	支部総会 1回 運営委員会 3回	支部総会 1回 役員会 1回 幹事会 2回 春季研究発表会 実行委員会	支部総会 1回 運営委員会 1回 幹事会 1回
研究会	研究会 3回	研究会 3回	研究会 6回 研究発表会 1回	研究会 36回	研究発表会 2回	研究会 6回
講演会	講演会 1回	講演会 1回	定例講演会 1回 支部講演会 1回	研究講演会 4回 記念講演会 1回	シンポジウム 2回 支部講演会 3回	講演会（3学会 共同） 支部講演会 4回
出版			支部ニュース 9回 研究発表会 ストラクト集 1回	支部 News letter 5回	研究発表会 ストラクト集 1回	支部ニュース 4回
その他			見学会 1回	見学会 1回		見学会 1回

10. 表彰

(1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞
第18回文献賞の選考を行ない、下記のとおり決定した。

- UPPER BOUNDS OF A MEASURE OF DEPENDENCE AND THE RELAXATION TIME FOR FINITE STATE MARKOV CHAINS および ON THE RELAXATION TIME FOR SINGLE SERVER QUEUES, Journal of the Operations Research Society of Japan Vol.32, No.1
木島 正明 (筑波大学)
- AN EFFICIENT ALGORITHM FOR BICRITERIA MINIMUM-COST CIRCULATION PROBLEM, Journal of the Operations Research Society of Japan Vol.32, No.4
加藤 直樹 (神戸商科大学)

(2) 日本オペレーションズ・リサーチ学会普及賞
第15回普及賞の選考を行ない、下記のとおり決定した。

唐津 一 (東海大学)

(3) 日本オペレーションズ・リサーチ学会実施賞
第14回実施賞の選考を行ない、下記のとおり決定した。

田辺製薬株式会社
代表取締役社長 千畑 一郎

(4) 日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究奨励賞

第10回事例研究奨励賞の選考および第5回事例研究奨励賞ソフトウェア部門の選考を行い、下記のとおり決定した。

第10回事例研究奨励賞

- アメニティをいかに計量化するか
オペレーションズ・リサーチ Vol.34, No.8
内藤正明, 森田恒幸, 青柳みどり (国立公害研究所)
- 都市と河川のイメージとアメニティタウン計画
オペレーションズ・リサーチ Vol.34, No.8
北村 真一 (山梨大学)
- 野球の打者・投手の貢献度評価のための新しい指標
オペレーションズ・リサーチ Vol.34, No.2
間瀬 重昭 (神戸商船大学)

第5回事例研究奨励賞ソフトウェア部門

- パソコン用数理計画システム「Micro-NAPS」
南石 晃明 (農林水産省)

(5) 日本オペレーションズ・リサーチ学会学生論文賞
第7回学生論文賞の選考を行ない、下記のとおり決定し、授賞を行なった。

- 非定常な需要関数を持つ多期間寡占市場の非協力均衡点
坂巻 淳一 (東京工業大学・修士論文)
- A Study on the Matching Theory and The Arc Routing Problem
猿渡 康文 (東京理科大学・修士論文)
- 混合型整数計画法による土地利用と道路網の同時最適化モデルに関する研究
転馬 潤 (埼玉大学・修士論文)
- ビルにおける避難の数理モデル
伯野 卓彦 (東京大学・学士論文)
- On Job Scheduling in Stochastic Flow Shops and Related Results in Tandem Queues 牧本 直樹 (東京工業大学・修士論文)

I 業務の概要

1. 役員に関する事項

理事	非常勤	監事	非常勤
定数：12人から16人	現在：16人	定数：2人	現在：2人
任期：2年		任期：2年	

理事・監事の役職	氏名	常勤 非常勤 の別	就任		担当職務	職名
			就任年月日	登記年月日		
理事(会長)	森村 英典	非常勤	63. 4. 28	63. 6. 21	会務の総理	筑波大学教授・東京工業大学名誉教授
”(副会長)	反町 洋一	”	63. 4. 28	63. 6. 21	企画調整	㈱三菱総合研究所取締役
”(”)	小田部 斉	”	元. 4. 28	元. 5. 30	”	共栄工業㈱技術顧問

理事・監事の役職	氏名	常勤非常勤の別	就任		担当職務	職名
			就任年月日	登記年月日		
理事(副会長)	長谷川利治	非常勤	元. 4.28	元. 5.30	企画調整	京都大学教授
"(庶務)	腰塚武志	"	63. 4.28	63. 6.21	庶務	筑波大学助教授
"(")	安達弘之	"	元. 4.28	元. 5.30	"	日本放送協会監事事務局副部長
"(会計)	平本巖	"	63. 4.28	63. 6.21	会計	㈱電力計算センター技術部長
"(研究普及)	忍田和良	"	63. 4.28	63. 6.21	研究・普及	㈱日通総合研究所取締役
"(")	小島政和	"	元. 4.28	元. 5.30	"	東京工業大学教授
"(編集)	伏見正則	"	63. 4.28	63. 6.21	論文誌編集	東京大学教授
"(")	高森寛	"	元. 4.28	元. 5.30	機関誌編集	青山学院大学教授
"(国際)	柳井浩	"	"	"	国際	慶応義塾大学教授
"(無任所)	若林信夫	"	"	"	無任所	小樽商科大学教授
"(")	権藤元	"	63. 4.28	63. 6.21	"	近畿大学教授
"(")	真鍋龍太郎	"	"	"	"	文教大学教授
"(")	柳沢滋	"	"	"	"	沖電気工業㈱本社生産統括本部CIM推進センター長
監事	今野衛司	"	63. 4.28	63. 6.21	民法59条	日本アイ・ビー・エム㈱ 技術渉外部部長
"	鈴木誠道	"	元. 4.28	元. 5.30	"	上智大学教授

2. 職員に関する事項

区分	専任者		備考
	有給者		
	人数	左の人数の基本給(年度末月額)	
事務職員	3人	628,400(円)	
計	3人	628,400(円)	

3. 会議に関する事項

(1) 通常総会

開催年月日	議事事項	結果
元. 4.28	1. 昭和63年度事業報告の件	承認
	2. 昭和63年度収支計算報告および監査報告の件	"
	3. 平成元年度事業計画の件	"
	4. 平成元年度予算の件	"
	5. 平成元年度・2年度役員選任の件	"
	6. 名誉会員推薦の件	"
	7. 学会賞の発表と表彰の件	"
	8. 新フェロー紹介の件	"

(2) 理事会

開催年月日	議事事項	結果
元. 4.28	1. 昭和63年度評議員会議事録の件	承認
	2. 昭和63年度第7回理事会議事録の件	"
	3. 平成元年度通常総会議事録の件	"

開催年月日	議事事項	結果
	4. 平成元年度支部長会議開催報告・議事録の件	了承
	5. 北海道支部規約一部改正の件	承認
	6. 平成元年度委員会委員・幹事委嘱の件	"
	7. 委員会等報告(含、今年度の運営方針)	了承
元. 7.17	1. 第1回理事会議事録の件	承認
	2. 第29回経営科学会国際会議中間報告の件	了承
	3. 委員会等からの報告 ・会員増強、春季研究発表会および第21回シンポジウム終了報告、OR企業サロン開催など	"
	4. 1990年IFORS視察団の件	"
	5. 第1/四半期収支計算の件	"
	6. 表彰・OA・国際委員等委嘱の件	承認
元. 9.14	1. 第2回理事会議事録の件	承認
	2. 第7回学生論文賞候補推薦の件	"
	3. 第2次長期計画対応の件	了承
	4. 委員会等からの報告 ・学術会議経営学研連シンポジウム終了報告、国際数学会議、第5回APOS理事会報告、平成2年度春季および秋季研究発表会開催など	"
	5. 上半期収支概算	"
	6. 会友推薦の件	承認
	7. 秋季支部長会議開催の件	了承

8. 会員状況

(1) 入退会内訳

	名誉 会員	正会 員	学生 会員	賛助会員		合計		
				A種	B種			
平成元年2月末日	6	2,365	171	124(152)	13(13)	2,679		
平成元 年度	入会		156	59	25(26)	15(15)	255	
	移行	学→正		67	△67			0
		正→学		△2	2			0
		正→名	1	△1				0
	退会		△88	△12	△1(1)	△1(1)	△102	
	除名		△20	△6			△26	
	復活		2				2	
	増口				(2)		(2)	
純増減	1	114	△24	24(27)	14(14)	129		
平成2年2月末日	7	2,479	147	148(179)	27(27)	2,808		

(2) 地域別内訳

	名誉 会員	正会 員	学生 会員	賛助会員	
				A種	B種
本部	6	1,512	102	102(130)	15(15)
北海道		75	3	3(3)	1(1)
東北		71	1	6(7)	
中部	1	205	5	9(9)	
関西		341	29	15(15)	
中国・四国		140	2	5(7)	4(4)
九州		135	5	8(8)	7(7)
合計	7	2,479	147	148(179)	27(27)

()は口数

平成元年度収支計算書

(第2号議案)

収支計算書総括表

(平成元年3月1日から平成2年2月28日まで)

(単位：円)

1) 収入の部

科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	
			数理計画法研究会	経営科学国際会議
基本財産運用収入	188,369	188,369	0	0
入会金収入	221,400	221,400	0	0
会費収入	49,229,700	49,229,700	0	0
事業収入	16,908,756	16,835,256	33,500	40,000
参加費収入	2,435,248	0	362,000	2,073,248
寄付金収入	21,130,000	0	0	21,130,000
雑収入	15,796,999	8,397,553	7,390,433	9,013
当期収入合計	105,910,472	74,872,278	7,785,933	23,252,261
前期繰越収支差額	15,052,165	15,052,165	0	0
収入合計	120,962,637	89,924,443	7,785,933	23,252,261

2) 支出の部

科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計	
			数理計画法研究会	経営科学国際会議
管理費	25,734,528	25,106,130	1,322	627,076
事業費	72,421,021	48,812,894	982,942	22,625,185
当期支出合計	98,155,549	73,919,024	984,264	23,252,261
当期収支差額	7,754,923	953,254	6,801,669	0
次期繰越収支差額	22,807,088	16,005,419	6,801,669	0
支出合計	120,962,637	89,924,443	7,785,933	23,252,261

収 支 計 算 書

(平成元年3月1日から平成2年2月28日まで)

1. 一般会計

(単位：円)

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
1) 収入の部						
基本財産運用収入	基本財産利息収入		160,000	188,369	28,369	
入会金収入	正会員入会金収入		158,400	186,000	27,600	
会費収入	学生会員入会金収入		43,800	35,400	△ 8,400	
	正会員会費収入		27,798,400	29,828,700	2,030,300	
事業収入	学生会員会費収入		1,165,000	1,052,000	△ 113,000	
	賛助会員会費収入		16,873,000	18,349,000	1,476,000	
雑収入	会誌頒布収入		9,300,000	9,001,045	△ 298,955	
	研究発表会収入		3,380,000	3,663,211	283,211	
	講演会収入		420,000	157,000	△ 263,000	
	講習会収入		600,000	1,234,000	634,000	
	資料等頒布収入		250,000	260,000	10,000	
	I A O R 収入		450,000	405,000	△ 45,000	
	E J O R 収入		360,000	337,000	△ 23,000	
	A P J O R 収入		80,000	78,000	△ 2,000	
	受託研究収入		1,700,000	1,700,000	0	
	名簿収入		200,000	272,000	72,000	
	広告収入		4,700,000	5,575,848	875,848	
	受取利息		1,100,000	1,521,357	421,357	
	雑収入		400,000	401,272	1,272	
	敷金引当金取崩収入		1,200,000	0	△ 1,200,000	
	国際協力引当金取崩収入		900,000	0	△ 900,000	
	O A 化引当金取崩収入		700,000	0	△ 700,000	
	別途引当金取崩収入		866,400	0	△ 866,400	
	経営科学国際会議繰戻収入		0	627,076	627,076	
当期収入合計			72,805,000	74,872,278	2,067,278	
前期繰越収支差額			15,052,165	15,052,165	0	
収入合計			87,857,165	89,924,443	2,067,278	
2) 支出の部						
勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
管理費	家賃		2,900,000	2,760,000	140,000	
	敷金		1,200,000	0	1,200,000	
	共益費		1,180,000	1,146,000	34,000	

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考	
大 科 目	中 科 目	小 科 目					
事 業 費	事 務 用 品 費		300,000	289,368	10,632		
	会 議 費		800,000	637,000	163,000		
	旅 費 交 通 費		1,630,000	1,532,750	97,250		
	通 信 費		1,200,000	1,646,122	△ 446,122		
	印 刷 費		300,000	357,628	△ 57,628		
	消 耗 品 費		800,000	461,475	338,525		
	○ A 化 準 備 費		400,000	300,000	100,000		
	リ ー ス 料		200,000	114,000	86,000		
	修 繕 費		20,000	57,474	△ 37,474		
	給 料 手 当		7,670,000	7,197,008	472,992		
	福 利 厚 生 費		1,580,000	1,441,266	138,734		
	臨 時 雇 賃 金		1,500,000	1,312,580	187,420		
	保 險 料		100,000	79,200	20,800		
	負 担 金		68,000	71,500	△ 3,500		
	支 払 手 数 料		110,000	131,347	△ 21,347		
	租 税 公 課		60,000	54,600	5,400		
	退 職 給 与 引 当 金 繰 入		200,000	800,000	△ 600,000		
	敷 金 引 当 金 繰 入		0	200,000	△ 200,000		
	○ A 化 引 当 金 繰 入		0	800,000	△ 800,000		
	別 途 引 当 金 繰 入		0	2,627,076	△ 2,627,076		
	雑 損 費		300,000	260,874	39,126		
	損 失 金		1,300,000	828,862	471,138		
	研 究 発 表 会						
		開 催 費		2,330,000	2,728,356	△ 398,356	
		印 刷 費		1,050,000	655,548	394,452	
	印 刷 製 本 費						
		機 関 誌		14,800,000	14,279,232	520,768	
		論 文 誌		3,100,000	2,918,770	181,230	
		報 文 集		100,000	0	100,000	
		印 刷 費		100,000	107,602	△ 7,602	
	国 際 協 力 費						
		I F O R S 会 費		250,000	294,426	△ 44,426	
		I A O R 購 入 費		240,000	383,283	△ 143,283	
	E J O R 購 入 費		360,000	621,647	△ 261,647		
	A P J O R 購 入 費		80,000	59,138	20,862		
	A P O R S 関 係 費		900,000	636,934	263,066		
研 究 活 動 費							
	講 演 会 開 催 費		550,000	259,924	290,076		
	講 習 会 開 催 費		400,000	319,129	80,871		
	O R 企 業 サ ロ ン		1,000,000	1,056,403	△ 56,403		
	研 究 部 会 費		750,000	750,000	0		
	支 部 費		2,600,000	2,505,400	94,600		
表 彰 事 業 費			300,000	213,096	86,904		
会 議 費			520,000	462,208	57,792		
旅 費 交 通 費			969,000	775,160	193,840		

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
予 備 費	通 信 運 搬 費		4,700,000	4,319,765	380,235	
	諸 謝 金		1,530,000	1,368,500	161,500	
	給 料 手 当		7,670,000	7,197,008	472,992	
	編 集 校 正 費		1,848,000	1,838,000	10,000	
	消 耗 品 費		870,000	1,124,318	△ 254,318	
	受 託 研 究 費		1,700,000	1,499,707	200,293	
	F M E S 関 係 費		170,000	130,330	39,670	
	国 際 協 力 引 当 金 繰 入		0	500,000	△ 500,000	
	記 念 事 業 引 当 金 繰 入		0	1,000,000	△ 1,000,000	
	表 彰 事 業 引 当 金 繰 入		0	300,000	△ 300,000	
	名 簿 作 成 引 当 金 繰 入		0	500,000	△ 500,000	
	雑 費		100,000	9,010	90,990	
	当 期 支 出 合 計			72,805,000	73,919,024	△ 1,114,024
当 期 収 支 差 額			0	953,254	953,254	
次 期 繰 越 収 支 差 額			15,052,165	16,005,419	△ 953,254	
支 出 合 計			87,857,165	89,924,443	△ 2,067,278	

2. 特別会計

(1) 数理計画法研究会

1) 収入の部

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
事 業 収 入						
	参 加 費 収 入		0	362,000	362,000	
	資 料 等 頒 布 収 入		0	33,500	33,500	
	展 示 収 入		0	0	0	
補 助 金 収 入 等						
	助 成 金 収 入		0	0	0	
寄 付 金 収 入						
	寄 付 金 収 入		0	0	0	
雑 収 入						
	広 告 収 入		0	0	0	
	受 取 利 息 収 入		0	117,971	117,971	
	雑 収 入		0	0	0	
	積 立 金 取 崩 収 入		0	7,272,462	7,272,462	
当 期 収 入 合 計			0	7,785,933	7,785,933	
前 期 繰 越 差 額			0	0	0	
収 入 合 計			0	7,785,933	7,785,933	

2) 支出の部

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
管 理 費	支 払 手 数 料		0	606	△ 606	
	租 税 公 課		0	716	△ 716	
事 業 費	賃 借 料		0	383,160	△ 383,160	
	会 議 費		0	90,935	△ 90,935	
	旅 費 交 通 費		0	10,000	△ 10,000	
	通 信 運 搬 費		0	100,004	△ 100,004	
	印 刷 費		0	190,344	△ 190,344	
	消 耗 品 費		0	2,500	△ 2,500	
	事 務 委 託 費		0	0	0	
	給 与 手 当 金		0	0	0	
	臨 時 雇 賃 金		0	106,000	△ 106,000	
	謝 金 費		0	99,999	△ 99,999	
	雑 損		0	0	0	
	当 期 支 出 合 計		0	984,264	△ 984,264	
	当 期 収 支 差 額		0	6,801,669	△ 6,801,669	
	次 期 繰 越 収 支 差 額		0	6,801,669	△ 6,801,669	
	支 出 合 計		0	7,785,933	△ 7,785,933	

(2) 第29回経営科学国際会議

1) 収入の部

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
事 業 収 入	参 加 費 収 入		14,000,000	1,012,000	△ 12,988,000	
	バ ン ケ ッ ト 会 費 等		1,500,000	1,061,248	△ 438,752	
	展 示 収 入		0	40,000	40,000	
寄 付 金 収 入	寄 付 金 収 入		20,500,000	21,130,000	630,000	
雑 収 入	受 取 利 息 収 入		50,000	9,013	△ 40,987	
	収 入 合 計		36,050,000	23,252,261	△ 12,797,739	

2) 支出の部

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
管 理 費	監 査 料		560,000	0	560,000	
	事後管理費（一般会計繰入）		0	627,076	△ 627,076	
事 業 費	借 料 及 損 料		15,610,000	12,348,632	3,261,368	
	会 議 費		6,874,000	6,245,890	628,110	
	旅 費 交 通 費		1,700,000	537,213	1,162,787	
	通 信 運 搬 費		1,050,000	104,726	945,274	
	印 刷 費		2,940,000	70,000	2,870,000	
	消 耗 品 費		1,512,000	15,784	1,496,216	
	事 務 委 託 費		3,500,000	954,980	2,545,020	
	人 件 費		980,000	1,297,960	△ 317,960	
	登 録 経 費		1,274,000	1,050,000	224,000	
	雑 費		50,000	0	50,000	
当 期 支 出 合 計			36,050,000	23,252,261	12,797,739	
当 期 収 支 差 額			0	0	0	
支 出 合 計			36,050,000	23,252,261	12,797,739	

貸借対照表総括表

平成2年2月28日

(単位：円)

1) 資産の部					
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計		
			数理計画法研究会	経営科学国際会議	I F O R S 会 議
流 動 資 産 合 計	81,038,178	73,146,937	6,801,669	627,076	462,496
固 定 資 産 合 計	0	0	0	0	0
資 産 合 計	81,038,178	73,146,937	6,801,669	627,076	462,496
2) 負債の部					
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計		
			数理計画法研究会	経営科学国際会議	I F O R S 会 議
流 動 負 債 合 計	32,410,798	31,783,722	0	627,076	0
固 定 負 債 合 計	20,820,292	20,357,796	0	0	462,496
負 債 合 計	53,231,090	52,141,518	0	627,076	462,496
3) 正味財産の部					
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計		
			数理計画法研究会	経営科学国際会議	I F O R S 会 議
基 本 金	5,000,000	5,000,000	0	0	0
剰 余 金	22,807,088	16,005,419	6,801,669	0	0
正 味 財 産 合 計	27,807,088	21,005,419	6,801,669	0	0
負債及び正味財産合計	81,038,178	73,146,937	6,801,669	627,076	462,496

貸借対照表

平成2年2月28日

1. 一般会計

(1) 資産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動資産	現金預金	62,569,370	
	有価証券	8,000,000	
	未収金	2,385,886	
	前払金	191,681	
流動資産合計			73,146,937
有形固定資産		0	
有形固定資産合計			0
資産合計			73,146,937

(2) 負債の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動負債	預り金	382,272	
	未払金	0	
	前受金	31,401,450	
流動負債合計			31,783,722
固定負債	退職給与引当金	1,602,508	
	敷金引当金	2,221,640	
	名簿引当金	500,000	
	国際協力引当金	4,317,106	
	記念事業引当金	1,700,000	
	表彰事業引当金	1,460,000	
	OA化引当金	1,500,000	
	別途引当金	7,056,542	
固定負債合計			20,357,796
負債合計			52,141,518

(3) 正味財産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
基本金	基本金		5,000,000
剰余金	次期繰越収支差額	16,005,419	
	(うち当期増減額)	(953,254)	
剰余金合計			16,005,419
正味財産合計			21,005,419
負債及び正味財産合計			73,146,937

2. 特別会計 (数理計画法研究会)

(1) 資産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動資産	現金預金		6,783,959
	仮払金		17,710
流動資産合計			6,801,669
有形固定資産			0
有形固定資産合計			0
資産合計			6,801,669

(2) 負債の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動負債			0
流動負債合計			0
固定負債			0
固定負債合計			0
負債合計			0

(3) 正味財産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
基本金	基本金		0
剰余金	次期繰越収支差額	6,801,669	
剰余金合計			6,801,669
正味財産合計			6,801,669
負債及び正味財産合計			6,801,669

3. 特別会計 (第29回経営科学国際会議)

(1) 資産の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動資産	現金預金		627,076
流動資産合計			627,076
資産合計			627,076

(2) 負債の部

勘定科目		金額
大科目	中科目	
流動負債	未払金 (一般会計繰入分)	627,076
固定負債合計		627,076
負債合計		627,076

4. 特別会計 (IFORS会議)

(1) 資産の部

勘定科目		金額
大科目	中科目	
流動資産	現金預金	462,496
流動資産合計		462,496
資産合計		462,496

(2) 負債の部

勘定科目		金額
大科目	中科目	
固定負債	IFORS特別 会計積立金	462,496
固定負債合計		462,496
負債合計		462,496

財産目録
平成2年2月28日

1. 一般会計

		金額
(資産の部)		
I. 流動資産		
1. 現金預金		
(1) 現金		
現金手許有高	341,750	
(2) 振替貯金		
東京振替貯金局	6,238,558	
(3) 当座預金		
第一勧業銀行八重 州口支店	200,224	
住友銀行白山支店	7,081	
(4) 普通預金		
第一勧業銀行八重 州口支店	7,400,970	
住友銀行白山支店	1,864,502	

三菱銀行千駄木支 店	1,366,285	
(5) 定期預金		
第一勧業銀行八重 州口支店	22,000,000	
住友銀行白山支店	11,150,000	
三菱銀行千駄木支 店	12,000,000	
2. 有価証券(利付債券)		
日本長期信用銀行 本店	8,000,000	
3. 未収金		
元年度会費他	2,385,886	
4. 前払金		
2年度研究発表会 開催費他	191,681	73,146,937
II. 有形固定資産	0	0
資産合計		73,146,937

		金額
(負債の部)		
I. 流動負債		
1. 預り金		
職員に対する源泉 所得税他	382,272	
2. 未払金		
抜刷代他	0	
3. 前受金		
平成2年度会費前 受他	31,401,450	31,783,722
II. 固定負債		
1. 退職給与引当金	1,602,508	
2. 敷金引当金	2,221,640	
3. 名簿引当金	500,000	
4. 国際協力引当金	4,317,106	
5. 記念事業引当金	1,700,000	
6. 表彰事業引当金	1,460,000	
7. OA化引当金	1,500,000	
8. 別途引当金	7,056,542	20,357,796
負債合計		52,141,518
正味財産		21,005,419

注: 基本財産たる資産
定期預金(第一勧業銀行八重州口支店) 5,000,000

2. 特別会計 (数理計画法研究会)

		金額
(資産の部)		
I. 流動資産		
1. 現金預金		

平成2年度事業計画

(1) 現金		
現金手許有高	0	
(2) 普通預金		
第一勧業銀行八重 州口支店	674,461	
(3) 定期預金		
第一勧業銀行八重 州口支店	6,109,498	
2. 仮払金	17,710	6,801,669
II. 有形固定資産	0	0
資産合計		6,801,669
(負債の部)		
I. 流動負債	0	0
II. 固定負債	0	0
負債合計	0	0
正味財産		6,801,669

3. 特別会計（IFORS会議）

	金額	
(資産の部)		
I. 流動資産		
1. 現金預金		
(1) 定期預金		
三菱銀行千駄木支 店	462,496	462,496
II. 有形固定資産	0	0
資産合計		462,496
(負債の部)		
I. 流動負債	0	0
II. 固定負債		
IFORS特別会 計積立金	462,496	462,496
負債合計	462,496	462,496

4. 特別会計（第29回経営科学国際会議）

	金額	
(資産の部)		
I. 流動資産		
1. 現金	627,076	627,076
資産合計		627,076
(負債の部)		
I. 流動負債		
1. 未払金（一般会計繰 入分）	627,076	627,076
負債合計		627,076

創立30周年長期計画の主要な活動の方針である。

(1) 「ORの実学への回帰」の実践

(2) 「ORは役に立つ」ことの周知への努力

をふまえ、平成2年度事業計画はとくに学会内の分野交流の促進、他学協会との連携の強化を図ることなど、ORの普及や実践の活動を従来以上に推進することを基本とする。

平成2年度における計画の概要は次の通りである。

1. 研究発表会

研究発表会を春秋2回開催する。

(1) 春季研究発表会

期日：5月19日、20日（見学会は21日）

場所：尚志学園北海道自動車短期大学

特別テーマ：地域産業とOR

(2) 秋季研究発表会

期日：9月23日、24日

場所：早稲田大学（大久保キャンパス）

特別テーマ：未来の生産システムをめざして

2. シンポジウム

シンポジウムを2回開催する。

(1) 第23回シンポジウム

期日：5月18日

場所：尚志学園北海道自動車短期大学

テーマ：情報ネットワーク

(2) 第24回シンポジウム（JIMA合同シンポジウム）

期日：9月22日

場所：早稲田大学（大久保キャンパス）

テーマ：CIM・FMSの管理技術（案）

3. 研究部会・研究グループ／特設研究部会活動

(1) 研究部会

次の13研究部会を設置する。

ア. 常設（2研究部会）

「待ち行列」 主査：川島 武（防衛大学校）

「OR/MSとシステムマネジメント」

主査：太田敏澄（豊橋技術科学大学）

イ. 継続（7研究部会）

「確率モデルとその周辺」

主査：大野勝久（名古屋工業大学）

「システム・シミュレーション」

主査：森戸 晋（早稲田大学）

「システム・ダイナミックス」

主査：亀山三郎（中央大学）

「情報ネットワーク」

主査：勅使河原 可海（日本電気㈱）

「投資と金融のOR」

主査：今野 浩（東京工業大学）

「数理モデルとその周辺」

主査：児玉正憲（九州大学）

「CIM・FMSの管理技術」

主査：黒田 充（青山学院大学）

ウ. 新設（4研究部会）

「合意形成と対外政策」

主査：荻野正浩（㈱電脳総合サービス）

「交通経営」 主査：矢島謙一（国土館大学）

「OR広報」 主査：森村英典（筑波大学）

「最適化とその応用」

主査：加藤直樹（神戸商科大学）

(2) 研究グループ

次の4研究グループを設置する。

ア. 継続（3研究グループ）

「社会分析」

主査：小島光造（㈱佐々木彬夫事務所）

「経営・管理システム」

主査：上田亀之助（㈱上田イノベーション研究所）

「動的計画法」

主査：小田中敏男（東京都立科学技術大学）

イ. 新設（1研究グループ）

「AHP」 主査：真鍋龍太郎（文教大学）

(3) 特設部会

「数理計画法研究会」

主査：今野 浩（東京工業大学）

(4) 年度途中からも研究部会の発足をみとめる。

4. 普及活動、会員増強活動

(1) 講演会、講習会の開催

(2) OR企業サロンの開催（7回うち1回は関西で開催）

(3) 会員増強活動の推進

(4) その他学会活動の広報

5. 刊行物

次の刊行物を発行する。

(1) 機関誌「オペレーションズ・リサーチ」(12号)

(2) 論文誌 Journal of the Operations Research Society of Japan (4号)

(3) 研究発表会アブストラクト集 (2回)

(4) シンポジウム予稿集 (2回)

(5) OR事例集

(6) 会員名簿

6. 日本学術会議および他学協会との連携・協力

(1) 日本学術会議，第15期登録学術研究団体となるための登録申請を行なう。

(2) 日本学術会議経営工学研究連絡委員会および同会議経営学研究連絡委員会の活動に協力する。

(3) 経営工学関連学会協議会（FME S）に代議員を派遣し，その活動に参画する。

(4) 日本学術会議経営工学研究連絡委員会並びに(株)日本オペレーションズ・リサーチ学会，(株)日本品質管理学会，(株)日本経営工学会，および日本開発工学会が共催する第6回シンポジウムに参画し協力する。

期日：7月13日(金)

場所：日本学術会議講堂

テーマ：高度技術社会と経営工学

(5) (株)日本工学会が主催する第9回「未来工学に関するパネル討論会」に情報処理学会，電子通信情報学会，人工知能学会とともに幹事学会として参画する。

期日：7月3日(火)

場所：建築会館ホール

テーマ：知的コミュニケーション（仮題）

(6) その他関連学協会との交流を積極的に進める。

7. 国際協力・交流

(1) IFORS (International Federation of Operational Research Societies) を通じて，各国のOR学会との交流，協力を図る。

(2) 本学会共催の第21回国際数学会議（1990年8月21日～29日）日本開催に協力する。

(3) ギリシャ・アテネ市で開催される IFORS'90 に視察団を派遣する。

(4) APORS (Association of Asian-Pacific Operational Research Societies) の事務局としてアジア・太平洋地域のORの発展と加盟学会間の情報交換に協力する。

(5) IAOR (International Abstracts in Operational Research) の編集発行に協力し，日本の文献抄録を送付するとともに，IAORの国内頒布に協力する。

(6) APJOR (Asia-Pacific Journal of Operational Research) の編集，頒布に積極的協力をする。

(7) EJOR (European Journal of Operational

Research) の編集，頒布に積極的協力をする。

(8) 海外からのOR関係来訪者に応接する。

8. 支部活動

各支部において，研究会，講演会，見学会等を企画し，実施する。

9. 表彰

文献賞，実施賞，普及賞，事例研究奨励賞（ソフトウェア部門賞を含む）および学生論文賞の選考・表彰を行なう。

10. その他

財政基盤の安定化に努めるとともに，事務局の強化に配慮する。

(第4号議案)

平成2年度収支予算書

収支予算書総括表

(平成2年3月1日から平成3年2月28日まで)

(単位：円)

1) 収入の部			
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計
			数 理 計 画 法 研 究 会
基本財産運用収入	180,000	180,000	0
入会金収入	201,000	201,000	0
会費収入	49,218,160	49,218,160	0
事業収入	14,857,000	14,207,000	650,000
雑収入	12,146,840	12,046,840	100,000
当期収入合計	76,603,000	75,853,000	750,000
前期繰越収支差額	22,807,088	16,005,419	6,801,669
収入合計	99,410,088	91,858,419	7,551,669
2) 支出の部			
科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計
			数 理 計 画 法 研 究 会
管理費	25,360,000	25,360,000	0
事業費	52,343,000	50,493,000	1,850,000
当期支出合計	77,703,000	75,853,000	1,850,000
当期収支差額	-1,100,000	0	△ 1,100,000
次期繰越収支差額	21,707,088	16,005,419	5,701,669
支出合計	99,410,088	91,858,419	7,551,669

収支予算書

(平成2年3月1日から平成3年2月28日まで)

(単位：円)

1. 一般会計

1) 収入の部			予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
勘 定 科 目	中 科 目	小 科 目				
基本財産運用収入	基本財産利息収入		180,000	160,000	20,000	
入会金収入	正会員入会金収入		162,000	158,400	3,600	
	学生会員入会金収入		39,000	43,800	△ 4,800	

勘 定 科 目			予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
会費収入	正 会 員 会 費 収 入		29,048,160	27,798,400	1,249,760	
	学 生 会 員 会 費 収 入		1,010,000	1,165,000	△ 155,000	
	賛 助 会 員 会 費 収 入		19,160,000	16,873,000	2,287,000	
事業収入	会 誌 頒 布 収 入		8,710,000	9,300,000	△ 590,000	
	研 究 発 表 会 収 入		3,300,000	3,380,000	△ 80,000	
	講 演 会 収 入		370,000	420,000	△ 50,000	
	講 習 会 収 入		640,000	600,000	40,000	
	資 料 等 頒 布 収 入		250,000	250,000	0	
	I A O R 収 入		474,000	450,000	24,000	
	E J O R 収 入		348,000	360,000	△ 12,000	
	A P J O R 収 入		115,000	80,000	35,000	
	受 託 研 究 収 入		0	1,700,000	△ 1,700,000	
雑収入	広 告 収 入		5,000,000	4,700,000	300,000	
	受 取 利 息		1,500,000	1,100,000	400,000	
	名 簿 収 入		800,000	200,000	600,000	
	雑 収 入		400,000	400,000	0	
	敷金引当金取崩収入		0	1,200,000	△ 1,200,000	
	表彰事業引当金取崩収入		900,000	0	900,000	
	国際協力引当金取崩収入		900,000	900,000	0	
	OA化引当金取崩収入		1,000,000	700,000	300,000	
	名簿作成引当金取崩収入		500,000	0	500,000	
	別途引当金取崩収入		1,046,840	866,400	180,440	
当 期 収 入 合 計			75,853,000	72,805,000	3,048,000	
前期繰越収支差額			16,005,419	15,052,165	953,254	
収 入 合 計			91,858,419	87,857,165	4,001,254	

2) 支出の部

勘 定 科 目			予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
管 理 費	家 賃		2,900,000	2,900,000	0	
	敷 金		0	1,200,000	1,200,000	
	共 益 費		1,180,000	1,180,000	0	
	事 務 用 品 費		300,000	300,000	0	
	会 議 費		800,000	800,000	0	
	旅 費 交 通 費		2,100,000	1,630,000	△ 470,000	
	通 信 費		1,500,000	1,200,000	△ 300,000	
	印 刷 費		400,000	300,000	△ 100,000	
	名 簿 作 成 費		1,300,000	0	△ 1,300,000	
	消 耗 品 費		500,000	800,000	300,000	
	O A 化 準 備 費		700,000	400,000	△ 300,000	
	リ ー ス 料		200,000	200,000	0	
	修 繕 費		60,000	20,000	△ 40,000	
	給 料 手 当		7,650,000	7,670,000	20,000	
	福 利 厚 生 費		1,900,000	1,580,000	△ 320,000	

勘 定 科 目			予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
事 業 費	臨 時 雇 賃 金		1,980,000	1,500,000	△ 480,000	
	保 險 料 金		100,000	100,000	0	
	負 担 金		80,000	68,000	△ 12,000	
	支 払 手 数 料		150,000	110,000	△ 40,000	
	租 税 公 課		60,000	60,000	0	
	退 職 給 与 引 当 金 繰 入		200,000	200,000	0	
	雑 費		300,000	300,000	0	
	損 金		1,000,000	1,300,000	300,000	
	研 究 発 表 会	開 催 費	2,250,000	2,330,000	80,000	
		印 刷 費	1,050,000	1,050,000	0	
	印 刷 製 本 費					
		機 関 誌	14,800,000	14,800,000	0	
		論 文 誌	3,100,000	3,100,000	0	
		報 文 集	100,000	100,000	0	
		印 刷 費	100,000	100,000	0	
	国 際 協 力 費					
		I FOR S 会 費	300,000	250,000	△ 50,000	
		I A O R 購 入 費	400,000	240,000	△ 160,000	
		E J O R 購 入 費	700,000	360,000	△ 340,000	
		A P J O R 購 入 費	100,000	80,000	△ 20,000	
		A P O R S 関 係 費	1,000,000	900,000	△ 100,000	
	研 究 活 動 費					
		講 演 会 開 催 費	470,000	550,000	80,000	
		講 習 会 開 催 費	400,000	400,000	0	
		O R 企 業 サ ロ ン	1,500,000	1,000,000	△ 500,000	
		研 究 部 会 費	750,000	750,000	0	
		文 部 費	2,700,000	2,600,000	△ 100,000	
表 彰 事 業 費		1,810,000	300,000	△ 1,510,000		
会 議 費		655,000	520,000	△ 135,000		
旅 費 交 通 費		990,000	969,000	△ 21,000		
通 信 運 搬 費		4,700,000	4,700,000	0		
諸 謝 金		1,500,000	1,530,000	30,000		
給 料 手 当		7,650,000	7,670,000	20,000		
編 集 校 正 費		1,848,000	1,848,000	0		
消 耗 品 費		1,200,000	870,000	△ 330,000		
受 託 研 究 費		0	1,700,000	1,700,000		
F M E S ・ 研 連 関 係 費		170,000	170,000	0		
記 念 事 業 引 当 金 繰 入		200,000	0	△ 200,000		
雑 費		50,000	100,000	50,000		
予 備 費						
当 期 支 出 合 計			75,853,000	72,805,000	△ 3,048,000	
当 期 収 支 差 額			0	0	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額			16,005,419	15,052,165	△ 953,254	
支 出 合 計			91,858,419	87,857,165	△ 4,001,254	

2. 特別会計（数理計画法研究会）

勘定科目				予算額	前年度予算額	増減	備考
大科目	中科目	小科目					
事業収入	参加費収入			600,000	0	600,000	
	資料等頒布収入			50,000	0	50,000	
雑収入	受取利息収入			100,000	0	100,000	
	当期収入合計			750,000	0	750,000	
前期繰越収支差額				6,801,669	0	6,801,669	
	収入合計			7,551,669	0	7,551,669	
2) 支出の部							
勘定科目				予算額	前年度予算額	増減	備考
大科目	中科目	小科目					
事業費	賃借料			300,000	0	△ 300,000	
	会議費			100,000	0	△ 100,000	
	旅費交通費			100,000	0	△ 100,000	
	通信運搬費			100,000	0	△ 100,000	
	印刷費			500,000	0	△ 500,000	
	消耗品費			50,000	0	△ 50,000	
	臨時雇賃金			100,000	0	△ 100,000	
	研究助成事業費			600,000	0	△ 600,000	
	当期支出合計			1,850,000	0	△ 1,850,000	
	当期収支差額			△ 1,100,000	0		
次期繰越収支差額				5,701,669	0	△ 5,701,669	
	支出合計			7,551,669	0	△ 7,551,669	

(第5号議案)

(第6号議案)

平成2年度・平成3年度
役員候補者並びに継続役員名簿

会務役職	定数	候補者	非改選役員
会長	1(1)	岡久雄	
副会長	3(1)	牧野都治	小田部 齊
"			長谷川 利治
庶務	2(1)	鈴木久敏	安達 弘之
国際	1(0)		柳井 浩
研究普及	2(1)	鈴木道夫	小島 政和
編集	2(1)	古林隆	高 森 寛
会計	1(1)	遠山澄	
無任所	4(3)	海老名史道	若林 信夫
"		福川忠昭	
"		藤野 義一	
監事	2(1)	山本正明	鈴木 誠道

()内は平成2年度改選数

平成2年度・平成3年度評議員候補者名簿

	氏名		氏名		氏名
1	青木 兼一	25	斉藤 嘉博	49	藤井 進
2	青沼 龍雄	26	佐藤 馨一	50	藤永 靖彦
3	浅居喜代治	27	司馬 正次	51	松田 武彦
4	阿南 信博	28	新村 秀一	52	松田 寿子
5	伊藤 忠雄	29	鈴木 誠道	53	三浦 大亮
6	茨木 俊秀	30	須永 照雄	54	水野 幸男
7	岩田 怜	31	関口 恭毅	55	御園生善尚
8	海辺不二雄	32	千住 鎮雄	56	武藤 滋夫
9	梅沢 豊	33	高井 英造	57	本告 光男
10	大前 義次	34	高原 康彦	58	元谷 靖宏
11	丘本 正	35	田中 庸平	59	森口 繁一
12	尾崎 俊治	36	徳山 博子	60	森下 啓造
13	小田部 齊	37	戸田 一夫	61	矢島 敬二
14	織畑 基一	38	刀根 薫	62	柳沢 滋
15	亀田 壽夫	39	中井 暉久	63	矢矧晴一郎
16	川島幸之助	40	長津 行高	64	矢部 眞
17	川野幸三郎	41	西田 俊夫	65	八巻 直躬
18	栗原 宏文	42	西野 寿一	66	山下 達哉
19	児玉 正憲	43	野村 淳二	67	山下 浩
20	小山 昭雄	44	鳩山由紀夫	68	山田 郁夫
21	小和田 正	45	日比野康文	69	山本 保
22	近藤 次郎	46	平尾 信正	70	吉山 博吉
23	後藤 義雄	47	福田晋一郎		
24	権藤 元	48	伏見 正則		